

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 26 年 5 月 1 日		
所属学部・研究科	総合科学部 3年次 (留学開始時点)		
留学先大学	セントメリーズ大学 (国名: カナダ)		
所属学部・学科等名	Arts		
在籍身分	Visiting Student Undergraduate		
留学期間	平成 25 年 9 月 4 日 ~ 平成 26 年 4 月 26 日		
1. 渡航について			
ビザについて	ビザの種類: Study Permit		
	ビザ申請先: カナダ移民局 (CIC; Citizenship and Immigration Canada)		
	取得方法, 提出書類: カナダ移民局のホームページでオンラインで申請。その際資金証明やセントメアリーズからの受け入れ許可証、証明写真などをデータで提出する必要があります。申請後約一か月で結果がメールで届くので、そのメールに添付された承認書をコピーし持っていき、到着後すぐカナダの空港で正式な就学許可書を発行してもらえます。		
	手続きに要した日数: 1 ヶ月		
その他必要な事前手続き	ESTA 申請 (航空便がアメリカ経由だったため)、寮申請、資金証明発行		
出国年月日	平成 25 年 8 月 29 日		
経路	広島→成田→ニューアーク→ハリファックス		
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (大学関係者・その他) <input type="checkbox"/> 無		
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	授業開始前の一週間、留学生を対象としたオリエンテーションが行われます。		
帰国年月日	平成 26 年 4 月 24 日		
経路	ハリファックス→シカゴ→成田→広島		
2. 留学経費について			
所要経費	総額	135 万 円	
	内訳	渡航費	20 万 円
		保険料	10 万 円
		教科書代(学費)	3 万 円
		宿舍費	62 万 円
		食費	20 万 円
		その他 (雑費) (旅費)	5 万 円 15 万 円
3. 授業について			

2013年 前期	9月 4日 ~	12月 17日
2014年 後期	1月 6日 ~	4月 26日
年 学期	月 日 ~	月 日
年 学期	月 日 ~	月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	一年生向けの授業はすべて大学のホームページで履修登録できます。二年生以上の授業についても、申請すれば受講を認められるものが多いです。	
単位互換希望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること	
学術面に関する後輩へのアドバイス	授業の中で疑問点やよくわからないところがあるときは, よくオフィスアワーを利用していました。先生も留学生に慣れている方が多いので, 親身に相談にのってくれます。	
4. 生活等について		
(1) 留学先の住居について		
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()	
住居の広さ	約 8 m ²	同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (1人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input checked="" type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ()	
住居費	1ヶ月当たり 775(現地通貨)	約 7万8千円
住居を決定した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ()	
留学先での住居全般に関するアドバイス	大学にはRice, Vanier, Loyolaの三つの寮があり, それぞれ住居形態が異なります。寮によっては部屋にキッチンがなく, ミールプランを付けなければならないところがあったり, またバスルームがフロアメイトと共用のところもあったりするので, 寮に入る場合はよく説明書きを読み, 自分に合った部屋を選んでください。ただし部屋の申請が遅れると希望のところに入れない場合もあるので注意してください。	
(2) 医療について		
1日以上入院を要する病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった	
入院した場合	により 日入院	
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった	
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ()	
掛け金は	年間 10万7550円 補償額 死亡 一千万円, 治療・救護 最大一億円 その他 ()	
留学前後での予防接種の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名		
日常的な健康について不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:	

留学先国の医療事情 (日本と比較して)	病院にかかっていないのでわかりません。	
留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	ハリファックスの冬はとても寒いですが、基本的に屋内は暖房が完備されているので厚着をする必要はないと思います。	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
ハリファックスは基本的に治安は良いですが、事件や痴漢にあうなどの被害もあったという情報もしばしば入ってきました。また校内でパソコンや身の回りのものの窃盗も起こっていたので、日本にいるのではないという自覚を持って生活することが大事です。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
ハリファックスの主な交通手段はバスで、バスに乗ればスーパーやダウンタウン、ショッピングモールにすぐ行くことができます。		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 28 年 3 月	(当初の卒業予定年月 平成 27 年 3 月)
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input checked="" type="checkbox"/> その他 (具体的に 就職活動と卒論執筆のため)	
現在の状況および今後の予定・進路等	大学4年次。卒業を一年遅らせて就職活動を行い、現在の3年生と同じタイミングで卒業する予定です。	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫	留学前に卒論以外の単位はすべて取り終えていました。	
6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)		
<p>留学したての頃は慣れない環境で、ネイティブが話すスピードの英語が聞き取れなかったり、自分の言いたいことがうまく伝えられなかったりと四苦八苦することもあると思いますが、焦らず自分のペースで環境に慣れていったらいいと思います。セントメアリーズはカナダの大学の中でも留学生の割合が高い大学なので、世界中から来た学生と交流することができます。勉強だけではなく、さまざまな国の友人との交流も留学の醍醐味だと思うので、楽しんでください。</p>		

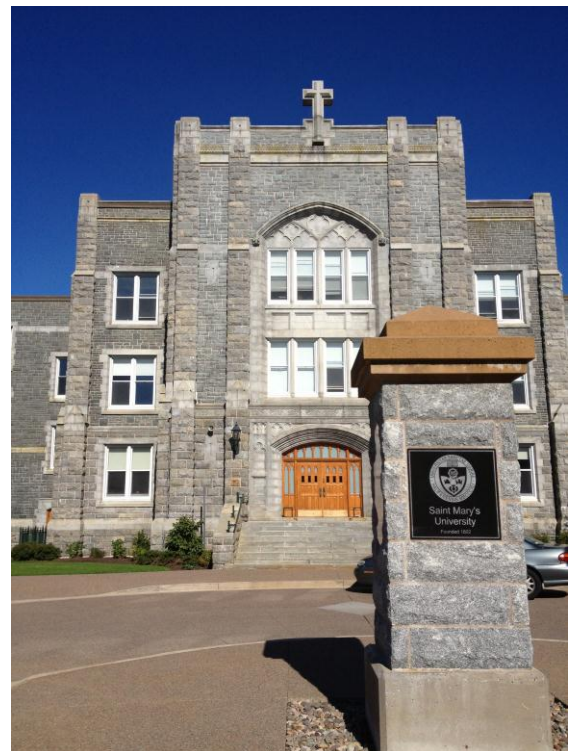
学習の概要に関するレポート

セントメリーズはビジネスやマーケティングの学部が看板となっていますが、文系の科目を中心にさまざまな分野の授業が開講されています。授業は基本的に週に75分×2回行われますが、3・4年生向けのセミナー形式の授業は週に一回150分行われることもあります。授業は1セメスターにつき3つから5つまで受講できますが、留学生は3つか4つまでを受講することが多いようです。

まず履修登録に関してですが、少なくとも前期分は出発前にできるだけ早く行っておいたほうがよいです。というのも、4月の終わりから5月の初めにかけて履修登録が開始され、人気の授業は受講希望者が殺到し、登録者数が定員に達した時点で登録が締め切られるからです。履修登録は授業が始まってから二週間後まで出来るので、自分の気になった授業はとりあえず登録しておき、ガイダンスを受けてみて再度決めるようにしたほうがよいと思います。

授業は基本的には複数の教科書を用いて行われ、毎週リーディング課題や科目によっては課題が課されます。課題の量は授業を行う先生によって異なりますが、事前に予習をしておかないと授業についていくことは難しいと思います。私は各セメスターに講義の授業を2科目、セミナー形式の授業を1科目受講しましたが、セミナー形式の授業を受けたいときは、その授業の予習や課題に特に時間がとられるので、全体の授業数や授業の種類のバランスに気を付ける必要があります。

成績は出欠や中間・期末試験、レポートやプレゼンなどの評価によってつけられます。成績評価の仕方も先生によってさまざまで、レポートやプレゼンを重視される授業、毎回の課題や授業への参加度が重視されるもの、またプレゼンも個人で行うか、複数人で行うか、そもそもプレゼンがないものもあります。レポートに関しては、ライティングセンターで文法や構成などを添削してもらえるので、積極的に利用してみたいと思います。また私は授業でよくわからないことがあるときや、レポートのテーマについてアドバイスをもらいたいときはよくオフィスアワーを利用していました。基本的に先生方はとても親切で、留学生にも慣れているのでよいアドバイスをいただけます。



生活の概要に関するレポート

ノバスコシア州の州都であるハリファックスは、人口 40 万人ほどの港町です。主な交通手段はバスで、街全体に路線が張り巡らされており、バスを乗り継げばほとんどどこへでも行けます。大学から徒歩 10～20 分のところにスーパーマーケットが二軒あり、バスで 20～30 分のところに比較的大きいショッピングモールがあるので生活するのには困らないと思います。またバスで 10 分のところにはダウンタウンがあり、娯楽施設や観光名所が集まっています。ダウンタウンのすぐ近くにはウォーターフロントもあり、ハリファックスを代表する美しい景色が一望出来ます。

まず住居に関してですが、私は最初 Rice のダブルルームに住んでいました。Rice ではそれぞれの部屋にキッチンとバスルームがついており、それを 3～4 人で共有します。しかしその部屋ではフラットメイトに問題があったためルームチェンジの申請をし、運よく空き部屋があったので一か月後に Loyola の senior apartment に移りました。そこは 2 人で 1 つのフラットに住みますが、1 人一部屋ベッドルームがあり、キッチンとバスルームを共有します。基本的に Loyola と Vanier は各部屋にキッチンとバスルームがなく、食事はミールプランを購入し食堂で食べることとなり、バスルームは 7～8 人のフロアメイトと共有することになります。私はミールプランを付けずに自炊をしたかったので Loyola でも部屋にキッチンがある senior apartment に入りましたが、senior apartment に入るには 21 歳以上か学部 3 年以上であることが条件となっています。ミールプランは自炊をするよりずっと高くつくこと、また食堂のごはんはジャンクフードが多く味も大味であることから、不満を漏らしていた友人も多くいました。毎日の食事のことなので、自分に合った方を選んだほうが良いと思います。寮に住む以外には、ホームステイや学外のシェアハウスに住むという選択肢があり、どちらも kijiji で探すことができます。寮のメリットとしては、学校とつながっているため雨の日や寒さが厳しい冬などは外に出る必要がないということです。また夜遅くまで図書館に残って勉強しても屋内を歩いて部屋に帰ることができるため安全ということもあります。しかし、学校の寮についてはフロアや部屋によってはとても騒がしいことがあるということ、必ずしも同じ部屋になったからと言ってルームメイトと親しくなれるわけではないということ、さらに学期の途中で寮を出ようとすると高い解約金が科せられるということも心に留めておいてください。

そして衣服に関してですが、ハリファックスの冬はとても寒くまた風も強いため、それに対応できる防寒着が必要不可欠です。日本から持ってきてても良いと思いますが、荷物がかさばったりそれだけでは十分に寒さに対応できなかったりということもあると思うので、現地で何着か買うのも良いと思います。私は真冬用のコートやセーターは現地で調達し、帰国の際に学内に数か所あるドネーションボックスに寄付して帰りました。

